

府立刀根山支援学校



テーマ：病弱支援学校におけるキャリア教育を意識した授業づくり

概要

令和3年度から、校内で進路指導・キャリア教育の推進を行ってきました。病気のある児童生徒の将来の進路やキャリア形成に関する不安を少しでも軽減するため、今年度は「病弱支援学校におけるキャリア教育を意識した授業づくり」をテーマに、学校全体でキャリア教育を意識した授業を実施しました。

校内全体研修は、授業見学の様子を踏まえて、キャリア教育の考え方や課題についてオンデマンドで実施しました。

さらに、中学部の数学科の研究授業では、学んでいることが将来とどう結びついているのかが分かるように指導・支援を工夫しました。研究協議では、工夫したことや今後の課題について共有しました。

実施

スケジュール

Research

| | |
|----------|------|
| 6月11日(火) | 打合せ |
| 7月2日(火) | 授業見学 |

Vision

| | |
|-----|-----------------------|
| 9月～ | 第1回校内全体研修会 事前アンケート |
|-----|-----------------------|

Plan

| | |
|-----|-------------|
| 9月～ | 学習指導案の作成・検討 |
|-----|-------------|

Do

| | |
|-----------|--------------|
| 11月15日(金) | 研究授業 研究協議 |
|-----------|--------------|

Check & Act

| | |
|-----------|---------|
| 12月13日(金) | アンケート集約 |
|-----------|---------|

全体会

9月 第1回校内全体研修会について

支援教育推進室指導主事より(以下資料より抜粋)

校内全体研修会は、オンデマンドで実施しました。キャリア教育について、職業教育や就職のための学習ではなく、日常の学びが結びついて、社会で生活していく力を培う教育であることを共有しました。

キャリア教育をととして必要な資質・能力(基礎的・汎用的能力)の育成において、具体的な目標設定(めざす生徒像、学校教育目標等)におけるポイントとキャリア教育を進めるに当たっての課題について講義をしました。

また、理科や図画工作の授業見学でも、日常の先生方の指導・支援の実践の中にキャリア教育に取り組まれていることを確認しました。

キャリア教育とは

キャリア
人が生活の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の
価値や自分と役割との関係を見出し、いく連なりや積み重ね

キャリア教育とは
一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基
盤となる資質・能力を育み、キャリア発達を促す
教育

キャリア発達
社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らし
い生き方を実現していく過程

「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について(国策)」より 中央教育審議会 平成23年1月

基礎的・汎用的能力

人間関係形成・社会形成能力

自己理解・自己管理能力

基礎的・汎用的能力

課題対応能力

キャリアプランニング能力

相互に関連・依存関係

「キャリア発達にかかわる諸能力の育成に関する調査研究報告書」 国立教育政策研究所

授業見学を通して

大阪精神医療センター分教室

個別学習
「よくできた」「がんばった」
努力したことを評価する言葉がけ → 自己理解・自己管理能力

算数
ルールを守る 粘り強く取り組む → 自己理解・自己管理能力

図工
手順通りに行う 子どもからの提案 → 課題対応能力

理科
今までの学習と新しい学習のつながり → キャリアプランニング能力

自立活動
人間関係の形成 → 人間関係形成・社会形成能力

学習への意欲、自己肯定感

研究授業

学 年 ・ 教 科 : 中学部 第1学年 数学科
単 元 名 : 「5章 平面図形」

タブレット端末を活用して、平面図形と立体図形や線について学習を行いました。線の違いでは、日常生活で見るものを使って学習しました。デジタル教材だけでなく、ポイントナログ教材を活用して取り組みました。身近なものと関連付けて学習することで、生徒がイメージしやすく、積極的に学習に参加することができました。

成果

研究協議より

今回の研究授業していただいた授業では、キャリア教育を意識した授業づくりというテーマで研究授業、協議をとおして、あいさつなどだけでなく、生徒が「なぜこの学習をしているのか」と考える内容でした。

生徒から線の違いについての学習中に、「体育の授業で縦に並ぶ時は、線分」など発想の転換や自発的な意見がありました。自発的な意見ができる環境であることと、教員の指導・支援の工夫によって、既習学習と現在学んでいることを結びつけることができました、

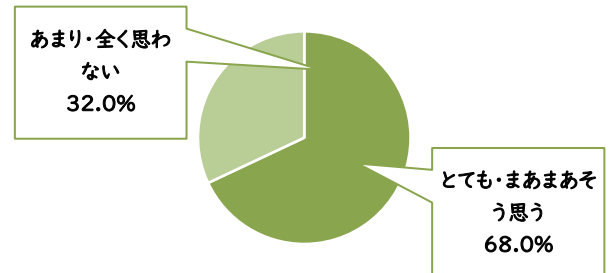
キャリア教育の視点を学習指導案に表記しても良かったなど今後の取り組むべき課題に向けて、協議することができました。

アンケート
結果

① 実施前



② 実施後



(アンケートより)

- ・ キャリア教育が職業や就職に向けた授業ではないことがよく分かった。
- ・ 毎日の授業の中で、キャリア教育に取り組んでいることに気がつきました。
- ・ もっとキャリア教育についていろいろな話を聞くことができればよかった。